

# しんあい

季刊

2002年（平成14年）2月20日発行 第46号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人 多摩同朋会  
所在地 東京都府中市武蔵台1-10  
〒183-0042  
TEL 042-366-0080  
特別養護老人ホーム 信愛泉苑  
高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター  
養護老人ホーム 信愛寮  
小規模特別養護老人ホーム 信愛緑苑  
府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑  
府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター  
子ども家庭支援センター しらとり  
母子生活支援施設 白鳥寮  
母子生活支援施設 東京都網代ホームぎずな  
母子生活支援施設 中野区さつき寮



私たちが作ったダンボールのおうち。  
◀ 「かまくら」みたいでしょう。  
（しらとり）



紅白のバラにつつまれて  
「ふふ…」乙女の気分で思わず笑顔に。  
▶  
（あさひ苑 秋のバスハイイク神代植物公園）

## 介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

- 泉苑在宅介護支援センター  
☎ 0120-6540-24  
老後支援24時間
- あさひ苑在宅介護支援センター  
☎ 0120-2942-24  
福祉にっこり24時間

## 特集

- 介護保険を考えるパート17
- 異職種を体験しました
- 施設だより テーマ  
2001年の重大ニュース

今回は特別養護老人ホームについて考えてみます。



入所して利用できる施設は概略、以下のようになります。

- ①有料老人ホーム：最近多様化してきている。入居権利金が500万円程度のところから多くは数千万。特定施設入所者生活介護として指定を受けている施設では、介護保険の給付を受けられる。施設として指定を受けていない場合には、在宅サービスの給付を受けることができる。通常安くても月額20万円前後の生活費が必要。
- ②グループホーム：主として痴呆性の方を対象にした小人数の施設(又は小人数のユニット式施設)。痴呆対応型共同生活介護として介護保険の給付対象施設となることができる。要支援～要介護3の方が多。生活費は月額20万円程度。
- ③ケアハウス：新しい型の軽費老人ホーム。多くが500万円前後の入居金が必要となる。生活費等として月額15万円前後が必要。
- ④養護老人ホーム：老人福祉法に基づく施設である。一人暮らしが困難、住居に困る、生活に不安がある等の様々な理由で在宅での生活ができなくなった方が措置により入所する。原則的に住民税非課税

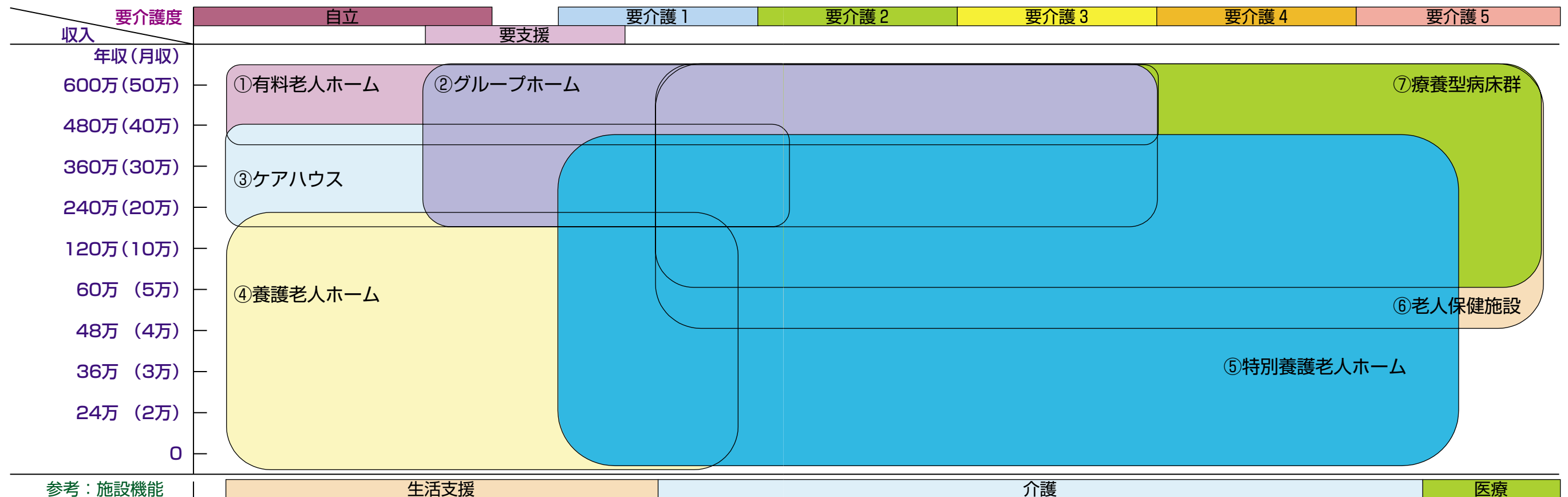
以下の所得層が対象であり、介護保険は適用対象外。在宅サービスの給付も利用できない。契約施設への転換が検討されている。

- ◆⑤特別養護老人ホーム：老人福祉法に基づく介護を必要とする高齢者の生活の場として位置付けられていた。平成11年度までの運営費は税を財源とする措置費(応能負担)であった。
- ◆⑥老人保健施設：医療と在宅、病院と在宅の中間施設として老人保健法のもとに位置付けられ、リハビリ、在宅復帰を特色としてきた。平成11年度までの運営費は診療報酬(医療保険)であった。
- ◆⑦療養型病床群：いわゆる老人病院として、慢性化した病状を中長期的に治療する施設。平成11年度までの運営費は診療報酬(医療保険)であった。

◆は介護保険法により3つの施設サービスとしてまとめられました。つまり⑤は介護老人福祉施設、⑥は介護老人保健施設、⑦介護療養施設となり、いずれも施設と利用者との直接契約施設となりました。従来自治体の窓口を通して、施設利用の必要性や緊急性を判断し、措置されていた特別養護老人ホームが最も大きく変化し、選択の自由や直接契約により待機者が増大しています。



介護度と収入を要件とする施設の位置づけ (概略図)



上記の図では入所して利用できる施設を要介護度と収入によって概略整理してみました。一定以上の所得(少なくとも月額20万円以上)がある方が利用できる施設はいくつかありますが、介護を必要とする所得の低い方が生活できる施設は特別養護老人ホームに限られることがわかります。一方、現在特別養護老人ホームをめぐるような論議が盛んになっています。

- ①規制緩和の一環として運営主体を自治体や社会福祉法人に限定せずに多様な事業者の参入を可能にすること。
- ②新型特別養護老人ホームの建設をすすめ個室・ユニットケアを基本とし、居住費を利用者負担とすること。

まず①については、特別養護老人ホーム入所を希望する多くの待機者を解消するためには民間企業力を借りても特別養護老人ホームを沢山つくるのが先決ということのようですが、施設サービスが増えれば保険料負担は増大します。本来介護保険制度は在宅重視を目的にした制度で施設に希望が集中した理由を解消し、在宅にシ

フトするように制度を見直していくことが大切のように思います。

次に②については、例えば居住費は月額4～5万円程度といわれていますが、食事代と利用料を加えると10万円近くになり、所得の低い方の利用はますます難しくなります。

保険料算出のための基準となった施設サービスは65歳以上人口の3.4%、特別養護老人ホームは1.5%といわれています。一方、特別養護老人ホームは補助金を主財源として整備された公共性の高い施設です。公的な責任と社会福祉法人の理念によって整備された施設は限りある社会的資源のひとつです。優先性の高い1.5%の高齢者を視野において施設の有効活用するためのシステムづくりが必要ではないでしょうか。

みなさまはどのようにお考えになりますでしょうか。



# 異職種体験記

## 「オレンジペーストの秘密」



あさひショートステイ介護員

佐藤 仁美

私は、同じ施設内の厨房の調理員として1日体験をさせていただきました。感動したのは、オレンジペーストを作った時です。オレンジをひとつずつ包丁でむき、皮の白い部分や房が入らないように丁寧に作業しました。

普段は食堂に料理が上がって来ることを当たり前に思っていました。ひとつひとつの料理に本当に手間がかかっている食事を利用者にも大切に味わってもらえるような食事介助をしなければいけないと感じました。このような体験をしたことで、他の部署の仕事が少しわかりました。また、食事介助に対する姿勢も変わります。よりよい食事環境のためにも異職種間の連携をこれからも大切にしていきたいと思えます。

## 「異職種体験で筋肉痛」



緑苑介護員 鷹野 邦宏

私は異職種体験のため「網代ホームさすな」へ伺いました。母子施設のことはいささかわかりませんが、興味がありました。

当日の朝、すぐに2、3人の子どもたちに「おはようございます」とあいさつしましたが、知らない人のためか返事はもらえませんでした。私の頭のなかでは不安が大きく膨らみました。しかし、今日の自分の役割は子どもたちと体力が続くまで遊びまわることだと心に決めました。

この日は学校が代休のためたくさんのお子さんを想像していましたが、午前中は5、6人の子どもたちと施設の近くの弁天山に登りました。緑苑では「歩けサークル」担当の私ですが、さすがに子どもたちは元気で歩いて行くのがつとです。さらには突然「おんぶだー」と大きな声で飛びつきました。でも「おっ、これはうちとけてきたぞ」とうれしくなりました。

昼食後は子どもの数も増え、私のことにも慣れてきてくれた様子で、ドッジボールやキックベースで遊びました。それはもう激しすぎるほどでした。

ふだんは老いを見つめる静かな環境で働いています。が、この日はまったく違う仕事ができ大変勉強になりました。老いていく人と育って行く人の違いをまざまざと見せられたからです。これから仕事を続けていくうえで何か役に立つかもしれないと感じました。

## 「暖かい職場で作る温かい食事」

泉苑介護員 比嘉 幸代

今回の異職種体験で私は調理員の1日体験をさせていただきました。初めて調理場に入ると、自分が思っていたよりも狭く感じました。

実際の業務としては盛り付けをさせていただきました。汁が器の端についてしまったりして、とても気を使い大変でした。それにひきかえ調理の方たちは、いろいろな料理の盛り付けをひとつひとつ、器にきれいに収まるように分量を考えながら入っていました。プロの仕事だと実感しました。

私は普段はなにげなくご利用者に配膳をしています。調理の方は、ひとつひとつのお膳に見た目を工夫し、おいしく召し上がってほしいと心をこめているのだと思いました。

忙しい時間にお邪魔したにもかかわらず、丁寧に教えて頂き、雰囲気も良く、あたたかい職場だと感じました。

## 「ケアマネってこんなに大変なんだ」

中野区さつき寮 少年指導員

市村 英貴

私は母子生活支援施設の中野区さつき寮で、少年指導員を担当しています。普段は子ども達とドッジボールや将棋、トランプなどで遊んだり、宿題などの勉強と一緒にやって過ごしています。



今回は母子生活支援施設代表として、府中市立あさひ苑で、介護支援専門員（ケアマネージャー）の1日体験をすることになりました。同じ法人でありながら、老人福祉については知らない事ばかりです。恥ずかしながら「介護保険」という言葉は新聞やテレビなどで何度も耳にしますが、制度の仕組みなど詳しくは知りませんでした。そのため、ケアマネージャーの仕事と言われても一体どんな仕事内容なんだろう？…という状況でした。

当日はまず、介護保険制度の基本的な概要やケアマネージャーの業務内容などについて泰次長から説明がありました。「ケアマネージャーの仕事はケアプランの作成が主だと思われがちだが、介護度を調べる認定調査業務で1日が終わってしまうこともある。認定調査の申請がとて多く、調査できるケアマネージャーも限られていることから認定調査に追われる毎日です。」という話でした。

調査は原則として家族同伴でお願いしている為、仕事を持った家庭のお宅は土日に限られてしまうなど利用者本位でなければならぬ仕事だと感じました。訪問調査後は資料等を作成し、勤務が終了するのはほとんど夜の9時10時という毎日だそう！その後、介護度が決定すると利用者のニーズに合ったケアプランを立て介護サービス事業者との調整を行うそうです。初めてのお宅に伺い、調査したり、その方の困っていることを聞き出すためには相当の力量がいると思いました。今日1日ケアマネージャーに同行し、「ケアマネってこんなに大変な仕事なんだ！」というのが率直な感想です。福祉施設職員と一口に言っても、私の業務とのあまりの違いに驚きを感じました。1日という短い時間でしたがあさひ苑を身近に感じられる様になり、とても嬉しかったです。お世話になった方々、本当にありがとうございました。

## 「ファミリー・サポート・センターの開設」のお知らせ

多摩同胞会では、府中市より委託を受けて新たな事業をスタートします。平成14年4月より事業を実施するために、平成13年12月1日事務局を開設しました。

「府中市ファミリー・サポート・センター」は子育てを地域全体で助け合い、育児のサービスをお願いしたい方（依頼会員）と、それを受けて下さる方（提供会員）と、どちらもと思う方（両方会員）を、それぞれ会員として登録し、センターのアドバイザーが両者の仲介役として引き合わせた上で、援助活動を開始するということを、組織的に行う事業です。

<保育場所> 原則として、提供会員の自宅。

<会員の条件> ・依頼会員→市民で、原則として0歳から小学3年生のお子さんがいる方。

会員になるための説明会を受けていただきます。

・提供会員→市民で、育児の援助に協力できる方。センターの実施する講習会を受けていただきます。

<利用料金・報酬> 報酬及び実費の支払い・受け取りは会員同士で直接行う。（一応の基準額はあり。）

<保険について> 援助活動中の事故に備え、会員は保険に加入。会員の方の保険料負担はありません。

<申し込み> ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号・会員登録の希望（依頼か提供か両方）を記入の上お送り下さい。尚、直接お電話でも登録を受け付けています。

<事務局> 「府中市ファミリー・サポート・センター」〒183-0056 府中市寿町1-5府中駅北第2庁舎内  
電話.042(367)8882 Fax.042(352)2524

会員は、引き続き募集しています。

（比較的、提供会員の方が少ないため、ご協力いただける方も募集しています。）

詳しくはセンターへお問い合わせ下さい。

今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

多摩同胞会には老人施設、母子施設がそれぞれ3施設あり職員は300人にのほります。しかし、残念なことに交流はあまり多くなく、お互いの施設をわかりあう機会もそうありません。また、各職種は専門化し分業化する傾向にあり、同じ施設内といえども自分が所属する部署以外の業務に直接かかわることもむずかしいのが現状です。

季刊しんあい以前に企画し好評だった「異職種体験」を今回は4人の職員にお願いしました。たった1日の体験ですが、貴重な時間を得ることができたのではないのでしょうか。

# 2001年の重大ニュース!!

21世紀の幕明けの年。世界中でいろいろなことがありました。多摩同胞会の各施設ではどんなことがあったのでしょうか…。

## さつき寮

みんなが大活躍！  
さつき寮の今年のニュースを  
幼児・学童・母親に分けて、  
紹介します。

幼児は天候にはなぜだかいつも恵ま  
れず、5月の「潮干狩り」が葛西臨海水族館に、9月の  
「梨狩り」が子どもの城に行き先が変わってしまいま  
した。が、どこでもそのかわいらしい笑顔を振りまき、そ  
の明るい表情は太陽のように輝いてみえました。

学童はどの行事でも積極的に寮の中での中心的存在で  
すが、やはり今年は夏休みに行われた東京都児童福祉施  
設競技大会において白鳥寮との合同チームで予選リーグ  
で2位となり、決勝トーナメントに進出することができ  
たことでしょうか。練習を積み重ねた結果がとても良い形  
で実った喜びはどの子どもにとってもステキな思い出にな  
ったのではないのでしょうか。

お母さん方は、あるお母さんに講師になって頂き「本  
場の餃子を作ろう」と料理教室を開催したり、最後はみ  
んながハマった！「タイル工芸&押し花細工」の手芸教  
室で大いに盛り上がり、手先の器用さを披露して、  
意外な一面を垣間見せてくれました。

普段は行事など集団でやることに対しての参加を面倒  
くさがるが多かったりするのですが、みんなで作る  
ことの喜びや楽しみをたくさん味わえた一年だったよう  
です。

余談ですが、地区の自衛消  
防訓練審査会で職員杉野&  
田辺ペアが昨年の阿部&迫田  
ペアに続いて、準優勝に輝い  
たことも元気で明るいさつき  
寮を象徴したニュースであっ  
た事を付け加えておきますよ。  
(本間 美由紀)



## きずな

『2001年きずなの3大ニュース』

No.1は「一泊旅行」でした。

9月8日・9日。伊豆熱川へ母子一泊旅行に出かけま  
した。一日目は「伊豆バイオパーク」に行き好天のもと  
動物と触れ合ったり乗り物やアトラクションで大はしゃ  
ぎ。宿では夕食をお腹いっぱい頂き、広いお風呂でのんびり過しま  
した。二日目は朝から怪しげな天気。「伊豆ぐらんぱる公園」へ遊びにい  
きました。台風の影響で断続的な大雨。遊びと雨宿りの繰り返しで少  
々忙しい？ひとときでした。昼食のバーベキューで満腹になり、もうひ  
と遊びしてバスに乗ったらおやすみなさい…のはずが、みんな降りるま  
で元気いっぱい。来年も楽しい旅行にしたいですね。

No.2は野球観戦！

4月1日、「長嶋ボックス」の招待で東京ドームへ巨人対阪神戦を観  
に行きました。両チームで合計11人の投手が登板、4本のホームランが  
飛び交い盛り上がる大観衆の中、声を張りあげ応援したかいもあってか、  
待望の松井選手の3ランも出て6対5で巨人の勝ち。3時間半にわたる  
熱戦を楽しみました。

No.3は入園・入学でした。

桜満開の4月、きずなでは幼児5名が入園、小学生5名・中学生2名  
・高校生5名が入学し、保育園や学校で新しい仲間とともに過ごすこと  
となりました。早いもので1年が経とうとしています。みんなそれぞれ  
に成長のあとが見られます。もうすぐ進級、さらなる成長に期待して  
います。(小島 宗宏)

## 泉苑



平成13年の10大ニュースを発表！

平成13年泉苑で起こった話題を簡単ではありますが、  
10個にまとめましたので、今回特別にお教えいたしま  
す。(え？教えてくれなくてもいい？そうおっしゃら  
ずに読んでください…)

- 1 月が〜あえっさっさっ (玄関前盆踊りリニューアル復活！白鳥寮・泉苑合同で  
広くなった会場で大勢の方が来場、大盛況！)
- 2 美味しい焼きたてパンはいかがですか〜 (毎週水・土午後1時頃に移動パン屋さんが営業中  
くわしくは白鳥寮の第2位の記事をご覧ください。)
- 3 いや〜いい湯だね… (ホーム温泉に行く、テルメ小川)
- 4 ゴホン・ゴホン・ハークション (風邪が大流行！前代未聞？新年会・初詣中止となる！)
- 5 いらっしゃいませ〜 (とは言いませんが) (泉苑3階南に車椅子対応24時間自動販売機設置)  
\*白鳥寮1階、泉茶房も引き続きよろしくお願ひ申し  
上げます
- 6 世代交代！ (13年間・11年間使用の送迎車輜お疲れ様でした。  
そして、最新型車輜泉苑にようこそ！  
(お年玉年賀はがき様・赤い羽根様ありがとうございます)
- 7 地域へおじゃまします！ (新事業地域デイサービス開始(武蔵台・西府・日鋼地  
域)くわしくは45号の地域デイサービスの記事をご  
覧下さい。)
- 8 ピロリロリン〜ガチャガチャAIBO来る！ (ロボットの犬？です、名前に反応もします。ごはん  
は電気)
- 9 おめでどうーおめでどうー (職印○丸氏・○村さんの結婚！(○の中はご想像ください))
- 10 ちょっとわけありまして… (訪問用バイク2台購入(阿久津弘))

## あさひ苑

1 「寒いわ。早く帰りたい。」

4月には恒例行事、お花見が  
行われました。準備万端とど  
えて、桜も見頃、天気も上々、「さあ、皆さん外  
に出てみましょう！」と職員が利用者の皆さんを  
外へ誘導し、むせ込むほどの桜吹雪の下、「Aさ  
ん、今年の桜はいいかですか？」と尋ねたところ、  
返ってきたのがこの返事。…こりゃまいった。

2 「キャー!!動いた!!」  
6月には、あさひ苑始まって以来の珍企画「う  
なぎ祭り」が実施されました。お芝居、「うなぎ  
劇場」に始まり、昼食はもちろん「うなぎの蒲焼  
き」、おやつは本場浜松から取り寄せた「うなぎ  
パイ」という念の入れよう。そして庄巻が職員に  
よる「うなぎつかみ取り競争」  
この競争の中で、生まれて初めてうなぎをつか  
んだ女性職員も、涙ながらの悲鳴がこれ。  
この職員、この企画の発案者なんですけどね。

3 「…重いわ。手が疲れた。」  
7月には、来るべき盛夏に備えて、団扇作りを  
しました。ところがこの団扇、もともとしっかり  
した紙が貼ってあった上に、和紙を糊付けしたも  
のですから、そりやもう重たいのなんのって。で  
自分が作った団扇を使ってみたBさんのひとこと  
がこれ。ナルホド。

4 「冷たいー!もう降りていってよ。」  
8月に実施された「夏祭り」のなかで、職員に  
よる「氷上我儘大会」が実施されました。用意さ  
れた大きな氷の上に裸足で乗り、その滞在時間を  
競う、これまたなんとも馬鹿らしいゲームです。  
「永遠に乗ってられるぜ!」と豪語していたある  
男性職員が、氷の上  
に足を付けた瞬間に  
発した言葉がコ  
想像以上につらい戦  
いでしたホント。

5 「違うわよ、私のお嬢さんよ!」  
9月の「敬老の祝  
いで最高齢のCさん  
(女性・96歳)。他  
の利用者がお孫さん  
(男性)の自慢話を



始めると、「あら、いいわねえ。せひうちのお嬢  
さんに欲しいわ。」とのこと。「ああ、お孫さん  
同士の結婚もいいですよ。」と話を向けると、  
返ってきた返事がこれ。亡くなった旦那様も天国  
で苦笑してるかな?

6 「あなたみたいなお巡りさんなら、  
捕まってみよう!!」  
10月には警察学校から、ボランテアさんがや  
って来ました。若い男の子が大好きなDさん(女  
性)。隣に座った警官の卵を見ると開口一番、こ  
のセリフが飛び出しました。

7 「愛してるよ〜!!」  
同じく10月、午後の活動時間に「愛の告白ゲー  
ム」がありました。普段は物静かで、とても静か  
に小声でしか話をしないEさん(男性)。この  
ときばかりは、若い女性職員に向かって、「一世一  
代の大声でこう叫びました。奥さんが聞いてたら  
ゼッタイ怒るって…」

8 「何であの子たちの靴下は、  
あんなにだらしないくズリ落ちてるの?」  
11月には、府中東高校から数十名の女の子が、  
大挙してボランテアにやってきました。全員が  
短いスカートに、ゆるゆるのルーズソックスをは  
いています。それを見たFさん(女性)が不思議  
そうにこう尋ねてきました。思わず笑ってしま  
いながら「もっからああいう形をしてるんですヨ。」  
と説明すると、Fさんの顔は更に不思議さ々な表  
情になってしまいました。

9 「なんで東北なの?」  
更に11月には、おやつ時間に、手作りのリヤ  
カーで石焼き芋を配りました。焼き芋屋の夫婦に  
扮した職員が、「今日東北から出てきたばかりだ  
よ!!掘りたてのお芋だよ!!」と叫ぶと、すかさず  
利用者の間から、この鋭いつっこみが…。そう  
すよネ、焼き芋屋さんには東北から出稼ぎに來  
ている人が多いけど、サツマイモはもっと暖かい地  
方で採れるんですよ。

10 「あら〜?私も独身よ!」  
そしてつい最近の出来事ですが、植木屋を営む  
娘さんを持つGさん(女性・82歳)。「娘さんい  
つ来ても、よく働いてますね。私大好きです。私  
が独身だったらプロポーズして下さよ。」と話し  
かけたら、ナント返ってきたのがこの返事。「…  
すみません、Gさんにもちゃんとプロポーズしま  
す。」と思わずへんな謝罪をしちゃいました。(金井 英明)

## 白鳥寮

白鳥寮の4大ニュース

第1位 「景色が変わる」

今年の夏、白鳥寮の庭の植え込みだった部分を芝生に大改造!  
各部屋から見える視界も明るくとても広々とした雰囲気になりました。  
夏には、水を撒く職員の姿に夏らしさを感じ、日当たりも  
良く、最近では子ども達が「気持ちいいからゴロンしよう」と日  
向っこをしています。

第2位 「移動パン屋さん」

今年から、毎週水曜日と土曜日になると手作りパンの移動パン屋さんが来るこ  
とになりました。「タタタタ…」と音楽が聞こえてくるとパン屋さんが来たとし  
どもたちも大喜び。車がパンの形になっているので、子どもに大人気です!なんと  
いっても一番人気は赤ちゃんのおしり(クリームパン) みんな「おしりパン」と呼  
んで親しんでいます。

第3位 「ドッチボール予選リーグ突破」

毎年、夏に参加しているドッチボール大会  
に、みんなで目標を立て一丸になって頑張り  
ました。そのおかげで2年連続、決勝トーナ  
メントに進出。猛練習の成果が出せました。  
やったね!

第4位 「観光バス」

白鳥寮では年に2回、親子レクレーション  
という行事があり、10月にディズニーランド  
に行きました。観光バスを貸しきり、ゆった  
り気分を楽しみました。大人も子どもも、シ  
ンデレラ城や、ミッキーに会えて大満足でし  
た! (土屋 聖美)



## 緑苑

緑苑の3大ニュース

第1位 初めての祝100歳  
緑苑では特養利用者のN  
さんが100歳を迎えられ  
ました。誕生会では職員手づくりのくす玉を  
Nさんが割り、見事に散った花吹雪。「あり  
がと。ありがとございます。」と手を合  
わせ喜ぶことができました。また、ショートステイ  
の利用者から、「私、おばあちゃんが好きな  
のよ。」と小さくす玉と千羽鶴を頂いたり  
して、自然とNさんの所へ人が集まりました  
以前「この年になるともう長生きなんてし  
かないわ。」と話していた利用者が、この時  
「Nさんのように笑って素敵に年をとれる  
なら私も少し頑張ってみようかしら。」と話  
していました。今後も素敵なこと、楽しいこ  
とを見つけていけるようお手伝いしたいと思  
います。

第2位 「地域交流スペースの  
食卓リニューアルしました。」  
こちらは養護の利用者50名が利用している食  
堂兼地域交流の場であり、明るい木目のテ  
ブルと色とりどりの椅子に皆さんの反応は?  
といった。綺麗になったわ。」「旅館みた  
いだね。」と大好評。地域の皆様もぜひご  
利用下さい。

第3位 「納涼祭なんと800人!」  
8月19日に行  
われた納涼祭に  
は今年も地域の  
方々が数多く来  
苑され、800  
人にもなりまし  
た。利用者の方  
々もいつもと違  
うお祭りの雰囲  
気を楽しみなが  
ら、お酒やき  
そばなど味わ  
い、夏の夜を満  
喫していました。  
(田口 裕香)



# ボランテティア活動紹介

## 緑苑

「縁側でお茶」

の気分でボランテティア

緑苑では、昨年の9月より週に一度ご利用者のお話相手に来て頂いているボランテティア鷹野栄子さんの紹介をします。

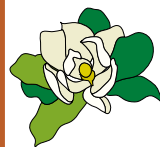
特養のご利用者の気分転換にと、苑庭の散歩や喫茶への付添いを積極的に行って頂いています。どんなことでも真剣に話を聞いてくださり、熱心に昔話を話すご利用者もいてなごやかな雰囲気になります。ふだんなかなかゆつくりと話をできない私たちですので、感謝でいっぱいです。  
(栗原美樹)

## さつき寮

音を楽しみ隊♪

さつき寮の学童は月に二回、協阪先生の指導の元に音楽教室を行っています。協阪先生は子どもたちに音楽を教えるだけでなく、学童行事のスケートや寮内あげでの卓球大会にその

隠れた才能をいかんなく発揮し、私たちが驚かせてくれています。音楽教室では子どもたちが楽しんでできる曲を選び、なかなか集中しない子どもたちに根気よく指導して下さいます。敬老の日には近所や法人内の老人ホームに慰問できるほどの腕前まで導き、音を楽しむ喜びを伝えて下さっています。学童の人数



(本間美由紀)

## ボランテティアの御協力ありがとうございます(敬称略)

青山幸子、青木成江、赤田美恵子、赤林好子、浅井吉子、あさひ苑家族会、阿部才千代、阿部美恵子、天野、飯塚喜亥子、飯塚麻紀、池田靖邦、石井 宏、石坂勝代、石川滋子、石森節子、市村正美、伊東富美子、伊藤浜子、猪野彩子、井上佐代子、井上宏子、井踏世津子、魚住仁恵、上沢美和子、上野玲子、鶴澤シヅ、江口亜津子、枝 瑛久、榎坂 博、遠藤みつよ、遠藤陽子、大倉弘子、太田トク、大竹ちとせ、小川健治、荻野和子、小倉道子、小澤末子、尾崎ヨシ子、恩田 猛、笠間豊子、梶田慶子、鹿島千重子、カッタサロンアベ、加藤衣子、加藤 静、加藤博子、神尾史郎、川崎綾子、川崎和代、川崎 恵、間野篤子、岸下 実

北邑ヒデ子、城所栄子、木下えり子、木村幸子、木本敦子、草野美鈴、熊倉洋子、久保田摩耶子、熊谷 康、黒岩富美子、黒澤貞子、警察学校、弦間まさ、小出晨一、小出由美子、河野トシヨ、小島瑠美子、小島ユミ子、小島百合子、小須田まつ代、後藤寿枝、小林希代子、小林貞子、小松志野、小山幸枝、今野幸子、紺野和子、斉藤孝子、坂本文子、桜山佐恵、迫 祥夫、佐々木ちが子、佐藤秋子、佐藤なか子、佐野田鶴子、柴田美紀、島津弘子、嶋田深美、清水文枝、下江美鈴、城田一伊、進藤サエ子、進藤輝子、菅原芳子、杉山シズ、鈴木昌子、鈴木千代子、関根直子、蘭部あさ、平 美枝子、高沢和子、高瀬由利枝、高田道敏

鷹野栄子、高橋よう、高嵩米子、高野晴美、竹松ふく、竹内カツ子、竹内範子、竹内由美子、田口稔子、辰本ケイ子、田中かね子、田中清美、田中久美子、田中 翠、玉田比佐子、田村 冬、丹野由紀子、千葉よし、辻新浩、辻村千枝子、角田和歌子、徳永桃子、奈須静江、中下秀子、中島永子、中島トシエ、永田真里、中野利子、永野信子、中村和子、中村知美、中村とく子、中村フサ子、中村美佐江、永吉和子、西久保永子、能登谷さくら、萩原八枝、橋本 巖、長谷川宣子、働く婦人の会、花沢浩子、原 貴美、原 菊江、原田敏子、原田まち子、羽山直子、土方 梢、ひのきしんの会、平泉順子、平澤みどり、平田敦子、平山房子、

広瀬正子、福原 正、藤岡登美子、藤原藍子、二家貞子、古川正子、古戸育子、法師入富子、牧内ヤス子、牧野新子、松川香津子、松沢通子、松田恵子、松野アイ、丸山公恵、水谷静江、水野知恵、三溝久枝、御手洗昭二、三輪孝子、宮川和子、宮崎美知子、宮澤由紀枝、村尾良子、毛利裕子、望月友子、森 亮子、元田良一、森口絹代、森嶋智子、盛田光代、森林美恵子、八木かつ子、山内邦子、山上涼子、山田ケイコ、山田繁子、山本千津子、山本峯子、弓削田恵美子、横田公子、吉田ヒサ子、吉田睦子、理容ボラ、脇坂昭典、脇山令子、渡部恵美子、理容ボラ、渡辺キク

(平成13年9月～11月)

## 御寄贈

ありがとうございます

ありがとうございます(敬称略)

浅川医院、淡路総業(株)、今堀茂夫、石原秀子、遠藤 盛、小野恭子、(株)ウイズ、(株)ジェービーシー東京営業所、麒麟麦酒(株)、国際ソロプチミストあきる野、(財)東京都新都市建設公社、(財)東京出版共同組合、(財)日本出版クラブ、佐藤千代、鈴木芳子、相馬信代、高橋正男、堤 千代、戸塚 勇、中山良英、フィリップモリス(株)、(福)東京福祉会、府中市産業課、松村厚子、松本周治、茂木督周、ワナー・ブラザーズ映画レオ・エンタープライズ株式会社

(平成13年9月～11月)